

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、10月4日（木）、学長・学部長等連絡協議会をKKRホテル東京（東京都千代田区）において開催し、会員大学・学部の学長・学部長をはじめ関係者約100名が出席した。

冒頭の挨拶で出口会長は、「本日は文部科学省から多くの方に出席いただき、国立大学法人や教員養成を巡る最近の動向など、教員養成大学・学部に関連する様々な課題について説明いただくこととなっている。それら諸課題について、本連絡協議会において情報を共有し、有意義な意見交換を行いたい。」と述べた。続いて、朝賀俊彦東北地区会長（福島大学人間発達文化学類長）が議長を務めることについて了承した。

前半の文部科学省による説明では、小山田享史国立大学法人支援課課長補佐から国立大学法人を巡る最近の動向について、高田行紀大学振興課教員養成企画室長から教員養成を巡る最近の動向について、白井俊教育課程課教育課程企画室長から学習指導要領について、水田功文化庁著作権課長から教育の情報化の推進のための著作権法改正について、柴論社会教育課指導研修係長から社会教育主事資格について、小林洋介国際統括官付国際戦略企画官・日本ユネスコ国内委員会事務局次長からESDの推進に向けて教育大学に期待することについて、長谷浩之教職員課教員免許企画室長から免許外教科担任制度の在り方に関する調査研究協力者会議報告について、それぞれ最新の施策説明があり、意見交換を行った。また、柳澤好治教職員課長から挨拶及び予定されている文部科学省の組織再編後の体制等について、説明があった。

後半は、同日昼に開催された理事会において、新しい全国研究部門として「へき地・小規模校教育部門」の設立が認められたことについて、部門の申請人である蛇穴北海道教育大学長から、報告があった。引き続き、企画・調査研究委員会及び年報編集委員会の活動状況について、各委員長から報告があった。

夕方には同会場にて情報交換会が催された。文部科学省からは義本博司高等教育局長、平野統三審議官（生涯学習政策局担当）、瀧本寛審議官（高大接続・高等教育局担当）、信濃正範審議官（高等教育局担当）他、多数の参加者があり、また、全国国立大学附属学校PTA連合会からも、呉本会長はじめ複数の幹部が出席し、出席者間で活発な情報交換・意見交換が行われ、最後に、丹信介副会長（山口大学教育学部長）の挨拶で成功裏に閉会となった。

〈学長・学部長等連絡協議会〉



出口会長



朝賀議長



小山田国立大学法人支援課課長補佐



高田教員養成企画室長



白井教育課程企画室長



小林国際戦略企画官



柴指導研修係長



水田著作権課長

長谷教員免許企画室長

柳澤教職員課長



会場の様子

〈情報交換会〉



義本高等教育局長



瀧本審議官



呉本全附P連会長



朝賀議長



丹副会長



会場の様子